

## 会 議 録

会議の名称	第4回吉川美南駅前公共施設整備検討委員会	
開催日時	令和3年11月9日(火)	午後3時00分から 午後4時30分まで
開催場所	吉川市民交流センターおあしす ミーティングルーム4	
出席委員(者)氏名	藏田幸三、高田明充、小松弥生、石井亮英、 金田桂子、高木淳、野尻一敏	
欠席委員(者)氏名	楊西希	
担当課職員職氏名	政策室長 浅水明彦 政策室副室長兼政策室主幹 岡崎久詩 政策室調整官 野尻宗一 政策室企画担当副主幹 油川誠 政策室企画担当副主幹 相川美佐子 政策室企画担当主任 平塚雅史 教育委員会事務局教育部生涯学習課課長 岩上勉	
会議次第と会議の公開又は非公開の別	[次第] 1 開会 2 あいさつ 3 議事 (1) 基本構想(案)に係るパブリック・コメントについて (2) サウンディング型市場調査結果について (3) 基本計画策定にあたっての導入機能の考え方について 4 その他 5 閉会 [公開・非公開の別] 公開	
非公開の理由 (会議を非公開にした場合)		
傍聴者の数	1名	
会議資料の名称	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1 吉川美南駅前公共施設整備基本構想(案)に係るパブリック・コメントについて</li> <li>・資料2-1 サウンディング型市場調査結果</li> <li>・資料2-2 公共機能に関する事業形態のアンケート調査結果</li> <li>・資料2-3 施設配置イメージ</li> <li>・資料3 基本計画策定にあたっての導入機能の考え方</li> <li>・資料4 ホール規模の比較</li> <li>・参考資料 吉川美南駅前公共施設整備基本構想(案)</li> </ul>	
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録	
会議録確認指定者	小松弥生委員、石井亮英委員	
その他の必要事項		

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)	
	<p><b>1 開会</b></p> <p><b>2 あいさつ</b></p> <p>委員長 (藏田委員長よりあいさつ)</p> <p><b>3 議事</b></p> <p>委員長 議事録署名人を名簿順で小松委員と石井委員にお願いする。</p> <p>委員 (異議なし)</p> <p><b>(1) 基本構想(案)に係るパブリック・コメントについて</b></p> <p>事務局 (資料1に基づき説明)</p> <p>委員 意見が1件しか集まらなかったのは残念である。吉川美南地区公民館にも資料を配置しなかったのはなぜか。</p> <p>事務局 市の慣例で、パブリック・コメントの閲覧場所とはしていなかったが、そのようなご意見もあり担当課に確認したところ、今後は地区公民館も閲覧場所とするとのことであった。今後は美南地区公民館でも実施をさせていただく。</p> <p>また、今回の意見提出が1件と少なかったため、ホームページのアクセス数を調べてみたが、他の計画と比べ遜色ない数字であった。今回は基本的な方向性に対する意見募集であったため1件となったが、より具体的な内容になれば、もう少しご意見がいただけるのではないかと考えている。</p> <p>委員 スポーツ施設の導入を求める意見について、本格的な体育館ではなく、ヨガや太極拳等の軽い運動ができる面積でもよいので、シャワー室を備えたスポーツ施設があるとよい。</p> <p>事務局 基本構想では、会議室・スタジオ機能を入れており、そこでスポーツを行うような運用も可能ではないかと思われる。また、サウンディング型市場調査では、民間施設としてスポーツ施設の整備も想定されているという意見はあった。民間施設との兼ね合いも考慮しつつ、頂いたご意見を踏まえて検討したい。</p> <p>委員長 パブリック・コメントに対する回答と基本構想案の修正案について、ご了承いただけるか。</p> <p>委員 (異議なし)</p> <p><b>(2) サウンディング型市場調査結果について</b></p> <p>事務局 (資料2-1、2-2、2-3に基づき説明)</p> <p>委員 広場の提案があるが、そもそも本敷地に広場を整備する想定はあったのか。広場と公園は似た機能ではないか。土地区画整理事業として近隣公園を整備するが、本敷地にも広場を新たに整備する必要があるのか。</p>

事務局	<p>サウンディング型市場調査の資料にて、外構の中に屋外広場を記載していた。今回、分棟の提案が多く、公共施設と民間施設を繋ぐ役割として、広場を配置する提案があった。必須の施設ではなく、外構の一部として提案されたものである。近隣公園との連携や機能の棲み分けに留意し、検討を進めたい。</p>
委員	<p>近隣公園の内容が確定していないため、機能が重ならないよう今後調整が必要だと思う。</p>
事務局	<p>区画整理事業の進捗により、公園の整備状況も変わると思われる。サウンディング型市場調査への参加事業者の中でも、公園に着目している事業者がおり、提案の中で活用していただけることも想定される。</p>
委員	<p>サウンディング型市場調査は、周辺に住宅が整備されることが前提での提案という理解でよいか。</p>
事務局	<p>民間事業者からも住宅がどの程度整備されるかによって、商業施設の内容も変わってくるという意見があった。公募のタイミングの検討も必要である。</p>
委員	<p>調査結果は消極的に見えてしまい、残念である。住宅整備と商業施設の整備は、どちらが先がよいかという検討は必要である。</p>
委員	<p>今回、PFI 手法等の提案であるが、分棟であり、市が財政負担を行う必要があるという調査結果だが、そのような理解でよいか。</p>
事務局	<p>今回、建設の企業が多かったため、このような結果であった。前回の国土交通省のサウンディング調査では運営企業も参加があったため、今後は運営企業の意見も踏まえて検討したい。</p>
委員	<p>今回の参加企業が建設関係であったため、運営はできないという趣旨かと思う。市が整備すれば、運営をやりたいという事業者はいると思われるため、市がどの程度財政負担をするのかを決める必要がある。</p>
事務局	<p>基本計画では、概算事業費を算出させていただきたいと考えている。</p>
委員	<p>建物だけを考えると、周辺とのバランスが取れなくなることが懸念される。周辺街区の状況とも連携しながらまちづくりを計画すべきと考える。</p>
事務局	<p>事業者公募の際に近隣状況の周知が必要との指摘だと思うが、担当部署と連携を図り、出来る限り情報提供を行い、民間事業者の提案の幅が広がるように事業を進めたい。</p>
委員	<p>調査結果は残念である。北側の 4.4ha の街区について、興味を持っている事業者はいるのか。4.4ha の方も立地は良いが参画意向がないとの意見であれば、そもそもこの場所で事業を行うのがどうかということになる。出てくる答えが当初と変わりがないように思われる。</p>
事務局	<p>4.4ha については、担当課で不調に終わった原因を分析中である。現時点では、4.4ha を全て商業施設で活用できるという意見は少ないようであるが、分譲マンションの条件が緩和されれば取り組みたいとの意向であった。</p>

委員	商業施設は導入できないということはあるのか。前提として、商業施設は導入せず、集合住宅を整備する、ということであれば、本事業のコンセプトも崩れてしまう。北側街区の状況が本敷地の計画に与える影響が大きいため、連携しながら計画を進める必要がある。
事務局	現時点で変更という予定はないが、北側街区の状況を踏まえて、連携を図り進めたい。バランスが崩れるような変更はないと思われる。
委員	周囲の人の意見では1000人規模の大きな劇場が欲しい、との意見が多かった。大規模ホールは整備・運営ともに困難との説明も理解はしているが、300人程度のホールであれば不要との意見もある。おあしすや中央公民館を改修することも考えられる。一方で、図書館については、吉川市に大型書店がないことから要望が多い。商業施設については、近隣に大型の施設があるため、不要との意見も多い。
事務局	商業施設については、マーケティングをした上で、必要性のある地域住民向け・普段使いのものが提案されると思われる。ホールについては、おあしすは利用が重なる場合もある。図書館については、市民意識調査でも要望が挙げられている。ご意見を踏まえて基本計画に反映したい。
委員	書店を誘致できるとよいのではないか。ホールも含め、カフェと一体的な施設というのがよい。分棟となることで、公共施設と飲食・物販が切り離されるのは好ましくない。1000席のホールはどのような用途が想定されるか。
委員	主にダンスや歌などの発表会だと思うが、市内の既存ホールでは収容人数が少ないため、1000人規模の公演が実施できない状況である。ただし、稼働率を考慮すると1000人規模のホール整備は難しいとのことは理解している。
委員	300席規模の場合は、商業公演では採算を確保できないため、鑑賞ではなく市民活動の場としての利用が主となる。中央公民館やおあしすとどのように差別化を図るかについて整理する必要がある。 音楽大学の学生にヒアリングしたところ、武蔵野線沿線には300席規模のホールが少ないため、整備されたら利用したいという意見であった。室内楽の団体で、練習段階から公開する取組をしている団体もある。需要の掘り起こしが必要である。駅に近いというのは魅力がある。
委員	ホールについては、500人程度の規模を想定していた。駅には、市内外からの窓口という役割もあるが、市内の人が集まってふれあえる場所にするという点も重要だと思う。昔から駅は一つの文化の窓口という捉え方もある。その点では、図書館や書店があった方がよい。駅前には駐車場が必要ないという利点や、集客しやすいという利点がある。
委員	ホールの規模はいつまでに設定する必要があるのか。
事務局	今後、基本計画（素案）の作成を行い、令和4年2月にパブリック・コメントを実施したいと考えている。その段階では市民の皆さまに規模感を示すこととなる。
委員長	官民連携ではリスクを官民が互いに回避しようとするとうと良くならない。今回のサウンディング型市場調査結果は、1つの重要な情報ではあるが、一方で、興味を持ってもらえるような事業者に戦略的にアプローチするこ

	<p>とを強くお勧めする。デジタル・文化という分野では意欲・資金ともに有する担い手は多いと思われる。市内や近隣でホールの担い手を探し、どのような運営を行っていくかを検討することがよいのではないか。もう少し絞り込んで、特色を出していく必要がある。今回の調査結果については、それほど悲観するものではなく、ビジネスの側からすると踏み切るのは難しい状況であるため、1つの情報としては参考になる。</p> <p><b>(3) 基本計画策定にあたっての導入機能の考え方について</b></p>
事務局	(資料3・4に基づき説明)
委員	ホール規模を500席～700席ということにはならないのか。
事務局	市が費用を負担し整備する場合には最低300席程度ということであり、民間事業者の提案で300席以上となる可能性はある。ただし、規模が大きくなると、維持管理費や使用料も高くなる。
委員	少なくとも500席を希望する。
委員	事業者の提案によっては、1000席でもよいのかどうかは決めておく必要がある。事業者募集の段階では、300席以上の提案を求めていくのか。
委員	近隣市町村の持ち回りで、人権の集いが毎年開催されているが、吉川市では大きな会場がないため、開催されない状況にある。ただし、会場規模が大きくなれば、駐車場の面積も必要となるため、それらも考慮し、規模を設定する必要がある。なお、300席程度の規模であれば、市民利用は行いやすいと思う。所属している文化活動の団体(11団体)からは、どの団体も、それほど大きくなくてもよいので、自分たちが自由に発表できる場が欲しいとの要望があり、大きさについてはこれまでに話が出ている内容で良いとの意見である。
事務局	ホール規模を民間事業者の提案に委ねるかについて、委員会としての意見をまとめていただけると有難い。
委員	資料3については、記載方法を工夫することで300席でも納得感が得るのではないか。規模に限らず運営方法によって、自分たちが積極的に利用し、吉川市の文化を築いていくというような表現がよいのではないか。
委員長	資料3について、「～また、動画撮影やオンライン配信などに対応できるよう、映像や音響設備についてデジタル技術の活用を図ります。」の部分を重視し、冒頭に記載したほうがよいのではないか。デジタル技術を活用することで、1000席のホールを整備するよりも遥かに大きな波及効果があり、そのような特色ある市民が多様な文化活動ができる場を想定すれば、300席で十分である。「～また」以降の部分が、時期的にも、コストパフォーマンス的にも、資金調達においても重要なキーワードである。視点の設定の仕方では300席が大きいかどうかは変わり、他にないという意味では十分に競争力があるという見方ができる。それであれば、コンテンツを提供できる、人材を出せる、教育やイベントで使わせてほしいという話も出てくると思われる。それによって、市民が使い尽くせるホールにしていくということに繋げていけばよい。
委員	他のホールとの差別化を図るためには、市民の文化活動・創作活動の拠点とし、単なる貸館に留まらない活動を行うなど、コンセプトの違いを表

